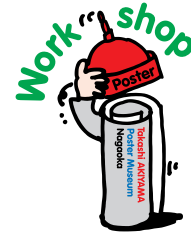


Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-08-12

APM 秋山孝ポスター美術館 長岡
歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

Workshop news 001



第1回APMワークショップ 7月6日(土) pm 1:00~2:30/APM 蔵
参加者: 20名 (他見学者5名) / 講師: たかだみつみ
「多色刷木版画でポストカードをつくろう!」

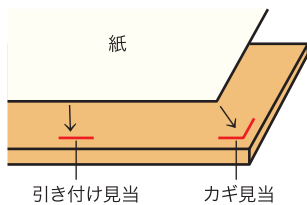
〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233
<http://apm-nagaoka.com>



ワークショップスタート!

秋山孝ポスター美術館 長岡 (APM) は、長岡市宮内にある美術館です。この度、収蔵庫「蔵」が新設され、それに併せてワークショップ活動を始めました。

記念すべき第1回ワークショップは、多色刷木版画の摺り体験を行いました。APMのシンボルキャラクターのポストカードを4色で摺りました。日本の伝統工芸のひとつである「伝統手摺木版画」。複数の色を摺り重ねる技術の仕組みを学びました。



赤、肌色、灰色、黒の色ごとに彫り分けられた版木を使って、1色ずつ順番に摺っていきます。絵柄部分に絵具をのせ、刷毛で絵具を版木に馴染ませます。ハガキを乗せ、バレンをしっかりとぎって、水平を心がけながら円を描くように擦ります。最後に「APM」のハンコを押して出来上がりです。

なぜ、絵柄がズレないの??

版木には絵柄部分の他に、下部に2カ所の溝が彫ってあります。この溝を「見当」といいます。見当に、ハガキの右下の角と下の辺を合わせ紙を置きます。すべての版木が絵柄に対して同じ位置に見当が彫られているので、紙を置く場所の目印となり、ズれる事無く摺り重ねることができます。参加者の最年少は1歳の男子。おじいさんに手伝ってもらいながら、小さな手でバレンをしっかりと握って上手に

みんな上手に摺れました!



摺ることができました。木版画は絵具の量や擦る力加減等で摺り上がりを変化します。みなさん、いろいろと試行錯誤しながら、世界に1枚だけの作品を摺り上げました。

「楽しかった。」「勉強になった。」「おばあちゃんに送りたい。」等の感想が聞かれ、みなさんの楽しそうな笑顔がとても印象的でした。